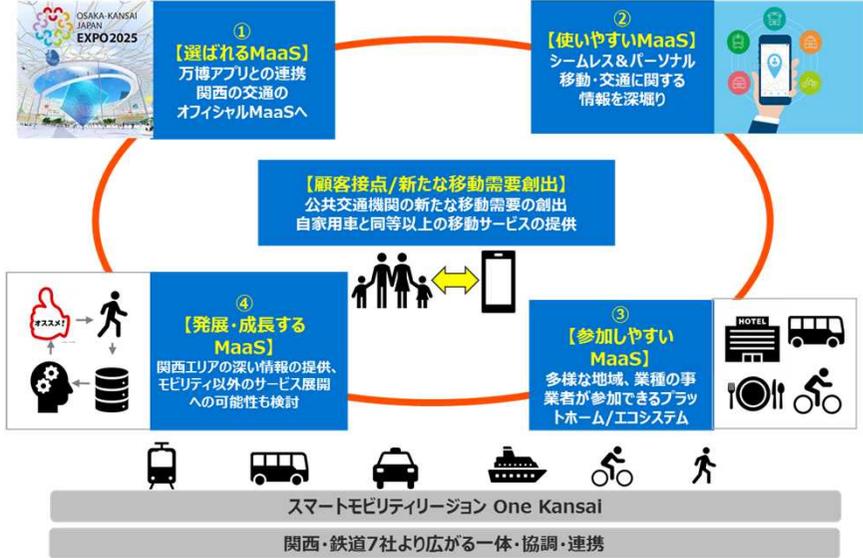


「関西MaaS」機能高度化事業

2023年夏にローンチを予定している、関西鉄道事業者の連携によるMaaSである「関西MaaS」について、万博との機能連携も見据え、2025年大阪・関西万博に向けた観光需要促進機能の高度化を推進する。

協議会の 構成員	【協議会代表】大阪市高速電気軌道(株) 近鉄グループホールディングス(株)、京阪ホールディングス(株)、 南海電気鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)		<p style="text-align: center;">事業イメージ</p> <p style="text-align: center;">MaaSを通じて提供するサービスを含む事業イメージ</p> 
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西交通事業者の幅広い連携を通じた移動サービスの高度化 ● 2025年大阪・関西万博来場者の輸送円滑化と観光需要促進 		
事業 概要	サービス 開始時期	サービス開始：2023年夏（予定） 機能高度化実装：2023年度末（予定）	<p style="text-align: center;">評価指標</p> <p>評価指標、目標、測定方法などを記載（2023年度末時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 【選ばれるMaaS】協議会との連携団体数 ● 【使いやすいMaaS】アプリ会員数・チケット発売数 ● 【参画しやすいMaaS】協議会会員数、チケット販売事業者数
	事業エリア	大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、三重県、和歌山県及び愛知県の一部	
	MaaS システム	協議会により新規構築	
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 経路検索機能：一般的機能のほか、協議会構成員（大阪市高速電気軌道、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、南海電気鉄道、西日本旅客鉄道、阪急電鉄、阪神電気鉄道他、協議会構成員グループ事業者等）の静的・動的データ（駅構内図・列車走行位置）に連携する機能を有しており、順次連携を拡大 ● 電子チケット：協議会構成員の企画乗車券を順次収容 	
	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光データベース：関西一円の主な観光施設・イベント情報を掲載 ● 電子チケット：自治体・観光団体との連携により、関西一円の観光施設入場券等を順次収容 	
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西MaaSは関西一円の交通事業者との連携を視野に入れた、日本初の本格的な大規模MaaSとして構築するもので、当面は2025年大阪・関西万博との連携による利用促進を目的としつつ、将来的には広く公共交通の利便性向上に寄与し、多くの交通事業者等が活用できるデータ連携基盤となることを目指している。 		<p style="text-align: center;">今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 既存の移動を補完する新たな移動需要を創出する（事業者視点） ● DX、CO2削減、高齢化等の時代の要請に応える新たな社会インフラとなる（社会的視点）